



新小岩幼稚園・未就園児クラス

アドバイザー

猪之鼻 晴子

### 『 赤ちゃん返り 』

「赤ちゃん返り」という一見可愛らしい言葉はママたちにとってはまったくもってかわいと思えない言葉です。  
下の子が生まれて自分の身体がまだ辛い時期に上の子まで困らせてくるとは。下の子がせっかく寝たのにわざと起こす。上に乗ってあぶない・今までできていたことを「出来ない」といってやらない。赤ちゃんみたいに。

赤ちゃん返りは何才でも何人目でもあります。  
私は今までで一番きつかった時期が長男2才、長女が赤ちゃんだった時期です。なんでこんなに大変な時期に私を困らせるようなことばかりするのだろうか？  
上の子のことがまったくかわいと思えなくなり、毎日泣きたくまりました。  
この子はおかしいのではないか？私がおかしいのではないか？  
と悩み、育児の相談に2人を連れて回っていました。

あとから振り返ってみると長男の気持ちがよくわかります。  
自分のことをあれだけ見ていてくれていたママがある日赤ちゃんを抱いて来たのです。「お兄ちゃんになったね」と言われてもうれしくありません。周りのひとも赤ちゃんを「かわいい、かわいい」と言います。確かに小さくてとてもかわいい妹や弟なのです。「それならかわいい赤ちゃんに戻ればまたママにかわいがってもらえるのだ。」と必死に赤ちゃんに戻ろうとします。着替えもできない、トイレもできない赤ちゃんに。そんな上の子を赤ちゃんと同じように扱う余裕はその時のママにはありません。今まで叱られなかったのにママはいつもイライラして怒ってばかり。

叱られても、嫌われるようなことでもしてママを必死に振り向かせていたのです。「もっとボクのことを見て、赤ちゃんだけ見ないで、ボクもいるよ」と。  
小学生や中学生なら甘えるわけにもいかず、ママを困らせるような行動をして注目を集めるしかないのも、もっと複雑な赤ちゃん返りになります。  
子どもにとってママの気持ちを独占したいということはそんなにも重要なのですね。

いまだに夢を見て長男に「ごめんね」と謝ることがあります。  
泣きたいのは私じゃなく、お兄ちゃんになった子どもの方だったのです。  
あの時私は試されていたのです。どんなに嫌われるようなことをしてもママは僕をきらいのならないのか？と。あの日に帰ってやり直すことはできないけれど、赤ちゃんを抱いたママがいたら、横にいる小さなお兄ちゃんお姉ちゃんの方に「かわいいね」と声をかけるようになりました。